

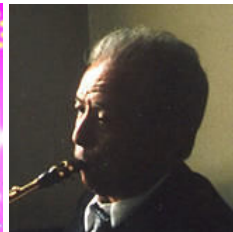
東日本大震災から2年 特別番組

LOVE & HOPE

『LOVE & HOPE～あの人に届けたい 2年目の春だより』
全世界に向けて Ustream ライブ配信決定！

TOKYO FMでは、東日本大震災から2年目を迎える3月11日、特別番組『LOVE & HOPE～あの人に届けたい 2年目の春だより』を13:00～16:00に放送いたします。さらに番組の主旨に賛同した(株)Jストリームとのコラボレーションにより、放送の様態を Ustream にてライブ配信し、国内外を問わず、放送エリア外の方にも広く視聴して頂けることになりました。

パーソナリティは箭内道彦と高橋万里恵、被災地レポーターにやまだひさし、ゲストに小山薫堂を迎え、さらに世界的サクスペイヤー渡辺貞夫が、復興への祈りを込めた鎮魂歌を生演奏いたします。



Ustream でのライブ配信では、生放送スタジオの映像のほか、特別番組制作にあたって取材した際の写真などを交え、東日本大震災被災地のいまと未来について全世界に発信いたします。さらに Twitter でリスナーのメッセージを募集し、映像内でご紹介します。

Ustream ライブ配信は下記 URL で実施

<http://www.ustream.tv/channel/love-hope1>

Twitter ハッシュタグ #lh311

【番組内容】

●いま、あの人に届けたい手紙

あの日、別れた大切な人、あの日、助けてくれた名前も知らないあの人、そして、震災後に生まれた新しい出会い……。震災から2年たったいま、あの人に届けたい手紙を、エフエム仙台・エフエム福島・エフエム岩手の協力のもと、被災各県のリッスナーから募集し、ご紹介していきます。さらに、宮城県雄勝小学校の土井校長先生が、あの日、全校生徒の中からたった一人亡くなった児童への手紙を朗読します。

●あれから2年、被災地のいま

『LOVE & HOPE』の取材を通じて出会った人々。それぞれの「今」をお伝えします。

◇宮城・南三陸町 和泉博文(いずみ・ひろふみ)さん

小学生から高校生まで3人の子供を抱えるシングルファーザー。仮設住宅に子供たちと母、5人で暮らす。父は津波で行方不明のまま。震災でトラック運転手の仕事を失い、臨時雇用で宮城県南三陸町の災害FM職員として働いた後、漁協で働くが、臨時雇用期間の1年の期限がもうすぐ。この春以降は未定。仕事の問題、高台移転が進まない災害公営住宅の問題などに直面している。

◇福島・浪江町出身 橋弦一郎(たちばな・げんいちろう)さん

福島第一原発から20km圏内の浪江町に新居を建てた直後に被災。親族のいる滋賀県に一時避難したものの、復興への使命感から、福島に戻る。不動産業に就き、住宅復興のため、現在住んでいる郡山から南相馬まで、片道90km往復5時間の道のりを通勤している。妻は郡山で、震災後に生まれた9ヶ月の赤ちゃんの育児に追われる。避難先のため知り合いがおらず、大人との会話がないうちに不安を抱えている。

◇やまだひさしの岩手県・釜石市レポート

やまだひさしは、震災直後からラジオ番組を通じて様々な復興支援活動を行い、CD売上や著書「永遠に語り継ぎたい3.11の素敵な話」の印税で被災地で仕事を創出する支援をしている。そんなやまだひさしが岩手県・釜石市の取材で出会った、1人の女の子の「今」をレポート。

●午後2時46分の祈り ～ 渡辺貞夫による生演奏

震災発生時刻2時46分は、リスナーとともに黙祷をささげ、追悼の音楽を届けます。

生演奏は、世界で活躍するジャズミュージシャン、渡辺貞夫さん。

2011年、震災発生直後の特別番組でも、東京のスタジオにかけつけて、被災地のリスナーに向けて生演奏を披露して下さった渡辺貞夫さん。あれから2年、新たな思いで、励ましと癒しの演奏を届けます。

●そして未来へ...

未来に向けて新たな活動を展開している人々にフォーカスをあてます。

◇福島出身 箭内道彦さん「東北ライブハウス大作戦」

箭内さんの活動によって作られた、宮古、大船渡、石巻の3つのライブハウスを紹介。さらに「風とロック LIVE 福島 CARAVAN 日本」の様相もオンエア。

◇小山薫堂さん

小山薫堂さんが渡辺謙さんと呼びかけ人となっている復興支援プロジェクト「KIZUNA311」。被災者の方々にとって光となり得るようなコンテンツをボランティアで制作していくプロジェクト活動をレポート。

◇宮城・唐桑町 からくわ丸代表 加藤拓馬さん

地域外から来たボランティアと地元の人と一緒に、唐桑地区の「街づくり」に取り組むプロジェクト「からくわ丸」。代表をつとめるのは、大学卒業と震災が重なり就職を一時延期し、ボランティア活動に取り組んでいる加藤拓馬さん24歳。滞在が長期化する中で見えてきたのは、破壊されていく「人の絆」でした。

そこで彼が取り入れたのが、九州の水俣を復興させた街づくり『地元学』の手法。「ないものねだり」から「あるもの探し」へ。地元の人を巻き込んで町おこしを模索している。

◇宮城・気仙沼 畠山信さん (NPO法人「森は海の恋人」副理事、牡蠣漁師)

気仙沼の新たな産業づくり「peace nature lab」を設立。人と自然が共存し、地域が持続的・自発的に運営・発展してゆくために、既存の水産業と観光業を軸とした新たな産業づくりをめざしている。

【番組概要】

タイトル: 東日本大震災から2年、特別番組

「LOVE & HOPE ～あの人に届けたい 2年目の春だより」

放送日時: 2013年3月11日(月) 13:00～16:00

放送形態: TOKYO FM 半蔵門アースギャラリーからの生放送 (一部、仙台、福島との3局ネット)

出演者: 箭内道彦、高橋万里恵、

レポート: やまだひさし

ゲスト: 小山薫堂

生演奏: 渡辺貞夫

映像制作協力: (株)Jストリーム